

科目名	設計製図				
授業形態	演習	学年	1		
開講時期	2022年度 前期	単位数	2		
担当教員	長沖 充				
内容および計画	<p>デザインを明確に客観的に伝達する為には、いろいろな表示、表現方式があるが、建築やプロダクトデザイン等においては、製図が主要な方式である。ここでは、製図法を解説するとともに、建築や空間デザイン、プロダクトデザイン等の表現法として設計製図の基礎を学ぶ。また、演習課題を通じて自ら設計した単位空間等を図面化する力を養う。</p> <p>この授業を受講する者は、「建築製図法」を受講すること。</p>				
1	授業の進め方、製図の意義、建築製図のルール				
2	製図道具とその使い方、線の練習				
3	製図規格、家具等の製図1				
4	製図規格、家具等の製図2				
5	製図規格、家具等の製図3				
6	有名住宅の製図①配置図・平面図				
7	有名住宅の製図②配置図・平面図				
8	有名住宅の製図③立面図				
9	有名住宅の製図④断面図				
10	演習課題：パーソナルスペースのデザイン1 スタディスケッチ				
11	演習課題：パーソナルスペースのデザイン2 平面図				
12	演習課題：パーソナルスペースのデザイン3 立面図・断面図				
13	演習課題：パーソナルスペースのデザイン4 展開図				
14	演習課題：パーソナルスペースのデザイン5 プレゼンテーションの準備				
15	演習課題：パーソナルスペースのデザイン6 プレゼンテーション				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	やさしく学ぶ建築製図「最新版」	松下希和+長沖充+照内創	株式会社エクスナレッジ	9784767823720	2014
適宜資料を配布する。					
参考書	1) 大西清著「JISにもとづく標準製図法」 理工学社 2) 幸田彰著「図学と製図」 培風館 3) 平野聖ほか著「デザインと製図」 西日本法規出版				
成績評価					
	評価方法			割合(%)	
	出席状況、受講態度			20	
	課題作品			80	
学習到達目標	建築空間デザイン、プロダクトデザイン等の基本的な表現法を理解し、自ら思考、設計した形態を表現(図				

	面化) できること。
先修条件	「建築製図法」を必ず受講すること。
実務経験	実務経験あり：大手ゼネコンの技術研究所に5年勤務。アトリエ系の設計事務所に7年勤務後に一級建築士事務所を設立。福祉施設（老人ホーム、幼稚園）、店舗（美容室、カフェ）住宅などの新築・リノベーションのインテリア・建築のデザインに20年以上の経験を有している。この経験をもとにインテリアデザイン、建築デザインの基礎、応用について教授する。
その他	必修・選択の別：選択